

目指す授業像（本学区では、共通してどんな授業を目指すのか）

視点1「学習意欲の向上」	視点2「言語活動の充実」
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの気づきや考え、学習経験から、主体的に学習課題を見つけ、解決の見通しをもちながら、自ら進んで課題解決に取り組もうとしている。 ・授業でわかったことやできたことを振り返り、課題解決の達成感をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由や根拠を明らかにし、自分の言葉で分かりやすく説明している。 ・自分の考えをもち、学び合いによって考えを広げたり深めたりしながら、よりよい考えにたどりつこうとしている。
<p>【現時点での課題（授業者・学習者）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いを自分事として捉え、意欲的に課題解決に向かうことができるような資料提示や発問を工夫すること。（授業者） ・課題解決の見通しをもち、自分の考えを意欲的に表現すること。（学習者） 	<p>【現時点での課題（授業者・学習者）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの内容・方法等を分かりやすく伝え、解決の見通しをもてるようにすること。（授業者） ・自分の考えをもち、話し合いを通して理解を深めたり広げたりすること。（学習者）

3 学年 社会科 単元指導計画

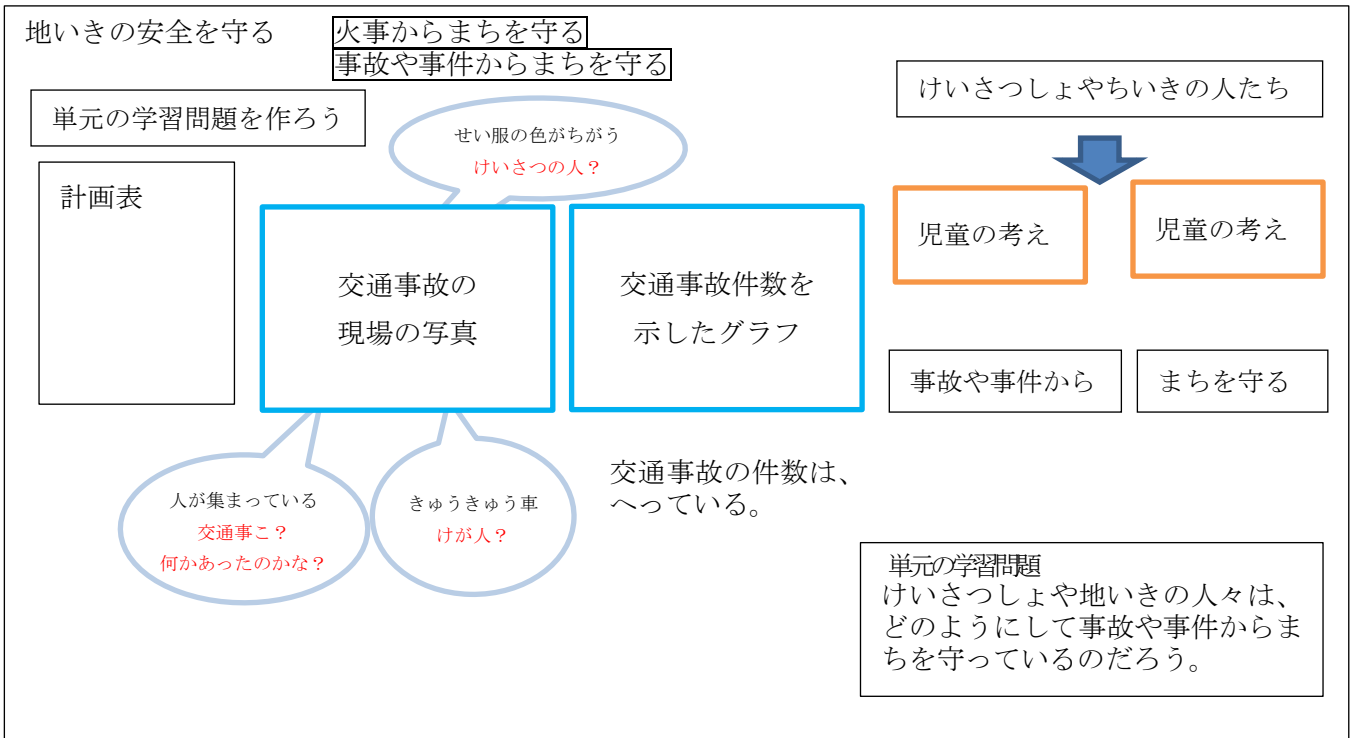
<p>単元名 事故や事件からまちを守る （社会科副読本「わたしたちの遠野」3・4年）</p>	日 時	令和5年10月6日（金）5校時
	対象学級	達曽部小 3年1組 （8+なかよし1名）
	授業者	教諭 小田嶋利香
<p>1 単元の目標 （何ができるようになるか）</p>		
<p>【知識及び技能】</p> <p>警察署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けようとする。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>警察署などの関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現する力を養う。</p>	<p>「学びに向かう力、人間性等」</p> <p>警察署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>
<p>2 単元で取り上げる「課題解決的な言語活動」 （何を通して育成するのか）</p> <p>調べたことを関係図にまとめる。</p>		
<p>3 単元の評価規準 （何が身に付いたか）</p>		
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>①働いている人の勤務体制や待機の仕方、パトロールの様子、ガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、「こども110番の家」などの位置や分布について見学・調査したり資料で調べたり</p>	<p>①働いている人の勤務体制や待機の仕方、パトロールの様子、ガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、「こども110番の家」などの位置や分布に着目して、問いを見出し、関係</p>	<p>①地域の人々の生命や財産を脅かす事故や事件から、安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

<p>して、必要な情報を集め、読み取り、警察署や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>②調べたことを関係図にまとめ、警察署を中心に消防署などの関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>②わかったことを関係付けたり、総合するなどして警察署を中心とするさまざまな関係機関の連携や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>②学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。</p>
<p>4 「2つの視点」+αによる授業改善 (どのように学ぶか)</p>		
<p>視点1 「学習意欲の向上」</p>	<p>視点2 「言語活動の充実」</p>	<p>本校の+α 「学びの振り返り」</p>
<p>① 本時の学習課題を把握する場面において、単元のゴールと本時のつながりを意識させるために、学習計画表を提示する。</p> <p>② 課題解決の見通しをもつ場面において、問いを自分事として捉え意欲的に課題解決に向かうことができるようにさせるため、資料提示や発問を工夫する。</p>	<p>① 課題を解決する場面において、自分の考えを表現できるようにさせるため、学習形態・学習方法など明確な指示を出すことにより、課題解決の見通しをもてるようにする。</p>	<p>① 振り返りの場面において、本時の学びを次時の学習への意欲付けや社会的実践力につなげるため、自分の言葉で「分かったこと」「友だちから学んだこと」「次に生かしたいこと」など学びを実感できる振り返りを書くことができるようにする。</p>

5 単元の指導と評価の計画（全9時間）		（単元をどうデザインするか）	
時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準〔評価方法〕
1 本 時	○消防の学習を振り返り、事件や事故から地域の安全を守るための働きについて学習問題をつくることができる。	・地域では交通事故や事件が発生していることに着目させ、警察署や地域の人々の働きを取り上げて学習問題をつくることができるようにする。	【思・判・表①】 ・警察署や地域の人々の働きに着目して、問いや気付きを見出し、学習問題として表現している。 (発言・記述)
	学習問題 けいさつしょや地いきの人々は、どのようにして事故や事件からまちを守っているのだろう。		
2	○学習問題の答えについて、予想を話し合う。	・警察署や地域の人々は、どのようにして事故や事件からまちを守っているのか予想して、学習計画を立てる。	【主】 ・学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている (発言・記述)
3	○交通事故を処理する警察署の仕事や、110番の通報のしくみについてしらべる。	・警察署の交通事故を処理する仕事に着目し、110番通報のしくみについて捉えることができるようにする。	【知・技①】 ・警察署は交通事故を処理する仕事をしていることや、110番の通報のしくみを理解している。 (発言・記述)
4	○地域の安全を守るための駐在所の仕事について調べる。	・警察の仕事に着目し、地域の安全のための仕事をしていることを捉えることができるようにする。	【知・技①】 ・警察署や交番、駐在所では、事故や事件を防ぐために、登校の見守りやまちのパトロールなどのさまざまな仕事をしていることを理解している。 (発言・記述)

5	○交通事故を防ぐための施設とその役割を調べ、施設がその場所に設置された理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を防ぐための施設に着目し、それらの役割や交通法規やルールを守ることの意味を捉えることができるようにする。 	<p>【知・技①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を防ぐための施設やその役割を捉えるとともに、それらが交通量や道路事情に応じて設置されていることを理解している。 <p>(発言・記述)</p>
6	○地域の人々による交通事故や事件を防ぐための取り組みを調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や事件を防ぐための地域の人々の活動に着目し、警察署と連携・協力して活動していることを捉えることができるようにする。 	<p>【知・技②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々は警察署と連携して、地域の安全を守るためのさまざまな取り組みをしていることを理解している。 <p>(発言・記述)</p>
7 ・ 8	○警察署の働きについて、事故や事件に対処したり、防いだりするための活動をもとに考え、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係図を作り、事故や事件に対応したり、防止したりする警察署や関係機関の働きをまとめる。 	<p>【思・判・表②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や事件からまちを守る働きについて、警察署と関係機関の連携を中心に関係図にまとめている。 <p>(発言・記述)</p>
9	地域の安全を守るために、自分たちができることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返り、地域の安全を守るために自分たちができることを考え、伝え合う。 	<p>【思・判・表②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにできることを選択・判断して表現している。 <p>(発言・記述)</p>

6 本時の展開		(本時をどうデザインするか)
	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入 5 分	1 単元の学びを確認する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">単元の学習問題を作ろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、単元で何を学んでいくのか確認できるようにする。 <p>【視点1：学習意欲の向上①】 本時の学習課題を把握する場面において、単元のゴールと本時のつながりを意識させるために、学習計画表を提示する。</p>
展 開 30 分	3 課題解決の見通しをもつ。 4 課題を解決する。 (1) まちを守るために、警察署や地域の人々はどんなことをしているか考える。 ① 自分の考えを書く。 ② グループで交流する。 ③ 全体で確認する。 (2) 学習問題を作る。 ① 自分で作る。 ② 全体でまとめる 5 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 写真やグラフなど資料を見て、気づいたことや分かったことを考えながら自分で学習問題を作ること知らせる。 写真やグラフに関心がもてるように、ICTの活用を図る。 <p>【視点1：学習意欲の向上②】 課題解決の見通しをもつ場面において、問いを自分事として捉え意欲的に課題解決に向かうことができるようにさせるため、資料提示や発問を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事件というキーワードもおさえる。 グループの話し合いは、リーダーを中心に進める。 <p>【視点2：言語活動の充実①】 課題を解決する場面において、自分の考えを表現できるようにさせるため、学習形態・学習方法など明確な指示を出すことにより、課題解決の見通しをもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習問題を作れない児童への支援：表現を補足しているシートを用意する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思・判・表①】 警察署や地域の人々の働きに着目して、問いや気付きを見出し、学習問題として表現している。(記述、発言)</p> </div>
終 末 10 分	6 学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> 学習問題 けいさつしょや地いきの人々は、どのようにして事故や事件からまちを守っているのだろう。 </div>	<p>【視点3：振り返り①】 振り返りの場面において、本時の学びを次時の学習への意欲付けや社会的実践力につなげるため、自分の言葉で「分かったこと」「友だちから学んだこと」「次に生かしたいこと」など、学びを実感できる振り返りを書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>予想される振り返り：〇〇さんが、「けいさつしょの人がいつもパトロールをしているからだと思う」と話していて、私もけいさつしょの人が、どのように毎日仕事をしているのか知りたくなった。これからけいさつしょのことを調べていくのが楽しみです。</p> </div>



A

目指す授業像（本学区では、共通してどんな授業を目指すのか）

視点1「学習意欲の向上」	視点2「言語活動の」
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの気づきや考え、学習経験から、主体的に学習課題を見つけ、解決の見通しをもちながら、自ら進んで課題解決に取り組もうとしている。 ・授業でわかったことやできたことを振り返り、課題解決の達成感をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由や根拠を明らかにし、自分の言葉分かりやすく説明している。 ・自分の考えをもち、学び合いによって考えを広げたり深めたりしながら、よりよい考えにたどりつこうとしている。
<p>【協議や助言の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を工夫し提示することにより、児童が思考できる場面が多かった。 ・単元の初めに学習問題や学習計画を自分たちで設定することにより、本時の学習課題の把握もスムーズに行うことができていた。 	<p>【協議や助言の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業では、教科リーダーが中心になり、話し合いをうまくまとめていたが、他教科でも同じように行うことで、リーダーの育成が図られていた。 ・キーワードの提示が、児童がまとめを作る際の手がかりになっていた。
<p>【本単元を終えての成果（授業者・学習者）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を設定し、ゴールを明確にしたことにより何を学ぶかが分かり、学習意欲の向上につながった。 ・単元の終末では、単元全体を振り返ることで、学びを実感させることができ、次単元へとつながりをもたせることもできた。 ・振り返りでは、学びの成果や実生活に生かそうとする記述が多く見られた。 	<p>【本単元を終えての成果（授業者・学習者）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの育成が、複式学習でも話し合いの場面で生かされ、自分たちだけで学び合いができるようになった。 ・友達の考えをワークシートに記入することで、話を聞く力や友達の考えと比べながら聞くことにつながり、自分の考えを広げたり、深めたりすることにつながった。
<p>【授業者所感・今後の実践に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す児童の姿を明確にし、どのような手立てを組めばよいのか、よく考えていく必要があると感じた。学習問題を自分たちで考えると、単元の学習意欲の向上につながる事がわかり、継続していきたい。自分の考えを自信をもって伝え合うことができる指導の工夫を更に考えていきたい。 	

